

# HIV/エイズ共同調査研究の概要 及び実施状況報告



2016年6月  
東京都 福祉保健局  
健康安全部 感染症対策課

# HIV/エイズ共同調査研究の目的

- 各都市が取り組むHIV/エイズ対策や調査の成果及び問題点を共有し検討する
- ↓
- 共有した事項を自都市の対策に取り入れる
- ↓
- アジネットの活動を通じた、アジア大都市におけるHIV/エイズ対策の一層の推進

# 実施計画(2014～2017年)

- |       |   |
|-------|---|
| 2014年 | <ul style="list-style-type: none"><li>• HIV/エイズ対策に係る各都市の現状調査を実施する</li><li>• 各都市間で実施計画について合意(5つの共通課題の設定)を取り付ける</li></ul> |
| 2015年 | <ul style="list-style-type: none"><li>• 各都市は選択した課題について、自ら調査研究を行う</li><li>• その成果を報告、共有(必要に応じて資料等を提供)する</li></ul>         |
| 2016年 | <ul style="list-style-type: none"><li>• 各都市が新たな課題を選択し、調査研究を行う</li><li>• 調査研究の成果を報告、共有する</li></ul>                       |
| 2017年 | <ul style="list-style-type: none"><li>• 調査研究の結果をまとめ、結論を出す</li></ul>   |

# 各都市の2015年の計画(選択課題)

	Common issue	City
(1)	Management and care for aging patients	—
(2)	HIV/AIDS control for intravenous drug users	Tomsk
(3)	HIV/AIDS control and prevention among MSM	Metro Manila, Taipei
(4)	HIV testing (HIV screening system)	Seoul
(5)	HIV/AIDS control and prevention for foreigners (immigrant)	Tokyo

# 各都市の調査研究タイトル

City	Survey titles
<b>Metro Manila</b>	HIV/AIDS prevention through measures for MSM
<b>Seoul</b>	Implementing rapid HIV test in total 25 public health centers in Seoul
<b>Taipei</b>	HIV/AIDS control and prevention among MSM
<b>Tokyo</b>	HIV/AIDS control and prevention strategy for foreigners in Tokyo
<b>Tomsk</b>	Evaluating the effectiveness of complex multiplatform transmedia SWEEPER in the prevention of HIV and intravenous drugs

# 背景(1)

- 都内在留外国人数は、449,042人(2016年1月1日現在)
- 外国人人口は全国で東京が最も多く、全国の外国人のうち約20%が東京に居住。以下、大阪、愛知、神奈川、埼玉と続く。
- 国際化(外国人の間での日本文化への関心の高まり、政府の訪日外国人旅行者受入の推進等)により、外国人の東京への訪問、在留の増加が認められており、今後とも増加が予想される

## 背景(2)

- 東京都の新規HIV感染者報告数は、435人(2015年)このうち、外国人は39 (9%)を占める
  - \*国籍不明は22(5%)
- 一方、現状の外国人に対するHIV/エイズ対策は、言語対応を含め、必ずしも十分とは言えない
- 今後、HIV/エイズ対策における外国人対応を推進をし、HIV感染の予防と早期発見を図るため、都内外国人と、その対応の実態を調査する必要がある

# 外国人対応のための調査

## (1) 都内外国人対応のための調査

(1-1) 一般外国人へのアンケート

(1-2) 外国人HIV陽性者へのアンケート

(1-3) 医療関係者等へのアンケート

## (2) アジア各都市の在留邦人に係る実態調査

## (3) 患者の母国情報の入手に係る実態調査

# (1) 都内外外国人対応のための調査

## 趣旨

都内における外国人に対するHIV/エイズの検査体制、相談体制、療養体制、普及啓発等についての現状及び課題を明らかにする

## 3種類のアンケート

- 一般外国人へのアンケート
- 外国人HIV陽性者へのアンケート(エイズ診療協力病院を受診している外国人HIV感染者)
- 医療関係者等へのアンケート(エイズ診療協力病院や保健所等の診療・検査担当者)

# 一般外国人へのアンケート(1)

## 趣旨

都内在留外国人の年齢や性別、国籍などの属性と、HIV/AIDS或いは医療一般に関する知識や行動を把握する

## 対象者

- 都内在留外国人の上位10カ国から50名ずつ、計500名
- 上位10か国：①中国、②韓国・朝鮮、③フィリピン、④アメリカ、⑤ネパール、⑥ベトナム、⑦インド、⑧タイ、⑨イギリス、⑩ミャンマー

## 使用言語(7カ国語)

- ①中国語、②韓国語、③英語、④ネパール語、⑤ベトナム語、⑥タイ語、⑦ミャンマー語

# 一般外国人へのアンケート(2)

## 《質問の概要》

- 回答者自身について
  - 性別、年齢、国籍、母国語、日本での滞在年数、日本語能力等
- HIV検査について
  - 受検した経験の有無
    - [有る場合]: 受検した理由、場所、困ったこと、要望等
    - [無い場合]: 受検しない理由、HIV検査について知っていること等
- 病院等の受診について
  - 受診した経験の有無
    - [有る場合]: 受診理由、病院選びの基準、困ったこと、要望、保険加入等
    - [無い場合]: 病院選びの基準、要望、保険加入等
- 健康情報の入手方法について
- HIV/エイズに関する知識について

# 外国人HIV陽性者へのアンケート(1)

## 趣旨

都内における、外国人に対するHIV/エイズの医療体制、検査体制、相談体制、普及啓発等についての現状及び課題を明らかにする

## 対象者

現在HIVに感染し、都内のエイズ診療協力病院で診療を受けている外国人

## 使用言語(8言語)

過去の調査で都内外国人HIV陽性者の上位言語

タイ語、英語、ミャンマー語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、韓国語、マレー語

→現在のところ、実際に使用した言語は次の5つ：タイ語、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語

# 外国人HIV陽性者へのアンケート(2)

## 《質問の概要》

- 回答者自身について
  - 性別、年齢、国籍、母国語、日本での滞在年数、日本語能力等
- HIV検査について
  - 受検した場所、理由、困ったこと、要望等
- 通院中の病院について
  - その病院を選んだ理由、困ったこと、病院における使用言語、要望等
- HIVに関する情報の入手方法について
- その他意見等

# 医療関係者等へのアンケート(1)

## 対象者

医療機関、検査機関 計70機関程度

医師、看護師、ソーシャルワーカー、東京都エイズ専門相談員、保健所の担当者(保健師)、NGO等

## 質問票の配布と回収

東京都感染症対策課から各機関宛に直接依頼

## 使用言語

日本語のみ

# 医療関係者等へのアンケート(2)

## 《質問の概要》

- 診療中または受検したHIV感染者・エイズ患者について
  - 新規感染者数・患者数(全体・外国籍)
  - 国籍別・性別・年齢階層別の人数
- 外国人感染者・患者との意思疎通について
  - 使用言語、説明用資料等
- その他
  - 工夫、今後必要と思われるもの等

# 東京都におけるHIV検査施設

## 東京都が設置する施設

- ・ 南新宿検査・相談室 ★
- ・ 多摩地域検査・相談室 ☆

計2カ所

- ・ 多摩地域保健所
- ・ 島しょ保健所(出張所)

計7カ所

## 東京都以外の主体が設置する施設

- ・ 特別区保健所
- ・ 八王子市保健所
- ・ 町田市保健所

計26カ所

- ・ 医療機関  
(病院、診療所等)



東京都庁

特別区  
(23区)

町田市

多摩地域

八王子市

島しょ

# アジア各都市の在留邦人に係る実態調査

## ○ 趣旨

- 前記「(1) 都内外国人対応のための調査」との比較
- アジア各都市の在留邦人が受診可能なエイズ診療病院等、現地で受けることができる保健・医療サービスの状況や情報へのアクセス等について調査

## ○ 対象都市

- アジア感染症対策プロジェクト参加都市の中で、長期滞在邦人数(2011～2013年の平均)が上位の3都市

バンコク、シンガポール、ソウル



アジア各都市の在留邦人に  
係る実態調査の対象都市

# アジア各都市の在留邦人に係る実態調査

## ○ 方法

- 現地大使館や日本人会等の協力による調査
- 現地情報については、各都市に協力を要請する事も考慮する

## ○ 調査を通じて得る情報

- 現地で、在留日本人が利用できるエイズ専門医療機関、その他の医療機関
- 現地で、日本人が入手可能な保健医療情報



アジア各都市の在留邦人に  
係る実態調査の対象都市

# 患者の母国情報の入手に係る実態調査

## ○ 趣旨

- 日本国内で治療中の外国人エイズ患者が帰国する場合、引き続き十分な治療を受けられるよう支援する必要あり
- そのため、母国の医療や健康保険等の制度、エイズ診療可能な医療機関等に関する情報の入手方法について調査

## ○ 対象国

- 過去の調査で都内外国人HIV陽性者数の上位9カ国  
(タイ、アメリカ、ミャンマー、中国、ブラジル、ペルー、韓国、フィリピン、マレーシア)

## ○ 方法

- 情報入手可能なウェブサイト、窓口に関する調査



患者の母国情報の入手に係る実態調査の対象国

# 患者の母国情報の入手に係る実態調査

## ○ 方法

- 情報入手可能なウェブサイト、  
窓口に関する調査

## ○ 質問票で得る情報

- 入手可能な情報源
- 患者の母国でのHIV/AIDS  
専門医療機関、その他利用  
可能な医療サービス状況
- 患者母国での保健医療  
サービス情報へのアクセス



患者の母国情報の入手に係る実態調査の対象国

# 東京都の調査研究

## 《スケジュール》

2015年4月～

- 都内外国人对応のための調査(3種類のアンケート)
- アジア各都市の在留邦人に係る実態調査
- 患者の母国情報の入手に係る実態調査

2016年1月～2016年3月

- データの解釈と編集

2016年8月～2016年10月

- 結果分析とまとめ、報告書の作成



ご清聴ありがとうございました



公益財団法人東京観光財団HPより